

実施日 平成十五年十月十七日(金)

実施クラス 普通科 三年 E組(男子30名)

指導者 五日市 悌

備考	本時の学習指導計画				本時の目標	単元の指導計画	年間指導計画における位置付け	評価観点と評価規準	単元の目標	指導事項	科目名	単元名	指導事項	現代文	評論	教材名	教科書名 高等学校現代文(桐原書店) 「教材名」 科学と世界観 村上陽一郎
	まとめ	展開	導入	過程													
補助プリント 配布	<p>次時の予告</p> <p>・第五段落の冒頭を読み、第二の問題点に着目して次時の予告とする。</p>	<p>・第四段落後半の内容を的確にとらえる。</p> <p>・第四段落後半を音読させながら、第一の問題点を整理していく。</p> <p>・補助プリントを配布。</p> <p>宮澤賢治の文章を読ませ、本教材と関連づけて科学技術のあり方を考えさせる。</p>	<p>・前時の内容を確認</p> <p>・本時の目標を設定</p> <p>・第四段落の冒頭を音読させる(指名) 冒頭の一文から第四段落の内容を確認させる。</p>	<p>・「進歩」に対する疑念が生じた理由は何か。</p> <p>・第四段落の冒頭を音読させる(指名) 冒頭の一文から第四段落の内容を確認させる。</p>	<p>・論理の展開をたどり、今日的な視点から科学技術と「進歩」の問題をとりあげる。</p> <p>・南北問題について調べたり、関連する文章を読んだりして問題意識を深める。</p>	<p>一時間目…科学の進歩について意見を発表する。第一段落から「進歩」の概念をとらえる。</p> <p>二時間目…第一・二段落から「進歩」の成立要件をまとめる。</p> <p>三時間目…第三段落から「進歩」に対する疑念が生じた理由をおさえる。南北問題について問題意識を持たせる。</p> <p>四時間目…(本時)南北問題について問題意識を深める。第四・五段落から「進歩」の問題点を確認する。</p> <p>五時間目…第五・六段落から筆者が考える今後の科学技術のあり方をまとめる。科学技術について意見を交換する。</p> <p>六時間目…現代における科学技術と「進歩」の問題について自分の意見をまとめる。</p>	<p>高3学年で扱った評論としては二つ目の単元である。前期で扱った評論は「近代」がテーマであり、日本が近代化していくなかで抱えてきた矛盾は歴史的事実として筆者の主張の確りととらえることに主眼をおいた。本単元は「現代」の抱える問題がテーマであるが、「現代」の抱える問題はわれわれが直面している問題であり、自分たちの問題としてとらえていくべきである。論理的な文章として論理の展開や要旨を的確にとらえることに加え、抽象的な表現の多い評論から筆者の主張を身近な問題に置き換えてとらえること。また、関連した文章を読むことで南北問題や科学技術に対する理解や考え方を深め、自分の生き方について考えさせたい。さらには小論文や意見文として表現することや自らの思考をより深めていくことができればいい。</p>	<p>ウ 様々な文章を読むことを通じて、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>・筆者の論理の展開の仕方などをたどりながら、筆者のものの見方や考え方を的確にとらえる。</p> <p>・文章全体の要旨の中心となる主要な論点と従属的な論点とを判別し、主要な論点を的確に読みとめる。</p> <p>・抽象的な語句の確かな理解を図り、言葉による認識の可能性を広げる。</p> <p>人間、社会、自然に関連する文章を読んで、感じ方や考え方を広げたり深めたりしつつ、自分の生き方について考える。</p> <p>ア 「関心、意欲、態度」…課題へ取り組み姿勢ができていいる。関連する文章を読み、考え方を広げようとする。</p> <p>イ 「読む能力」…論理の展開をたどりながら、内容を的確に読みとっている。</p> <p>ウ 「知識、理解」…抽象的な語句を的確に理解している。</p>									
	<p>・二つの問題点を確認する。</p> <p>・第四段落後半を音読させる。</p>	<p>・第四段落後半を音読させる。</p> <p>・第四段落後半を音読させながら、第一の問題点を整理していく。</p> <p>・補助プリントを配布。</p> <p>宮澤賢治の文章を読ませ、本教材と関連づけて科学技術のあり方を考えさせる。</p>	<p>・第四段落の冒頭を音読させる(指名) 冒頭の一文から第四段落の内容を確認させる。</p>	<p>・前時のノートから確認する。</p> <p>西欧近代の世界観が自明性を失い、「進歩」という理念にも疑念が生じた。</p> <p>・音読する。</p> <p>今日の視点から科学技術と「進歩」の問題をとらえる。</p> <p>南北格差の問題を考える。</p> <p>・黙読する。</p> <p>第一の問題点と第二の問題点に着目する。</p> <p>・音読する。(指名)</p> <p>便利な生活など・自然環境など</p> <p>北がこれまで「進歩」は関連していたと主張し南に押しつけていくことは利己主義になりかねない。</p> <p>・調べてきたことを発表する。(挙手・指名)</p> <p>それぞれの発表を聞き、南北格差についての認識を深める。</p> <p>・資料を読み、南北問題をふまえて意見、感想をもつ。</p>	<p>・問題点を確認し、ノートを整理する。</p>	<p>イ・一段落の要旨をとらえることができる。</p>											
		<p>・第四段落後半の内容を的確にとらえる。</p> <p>・第四段落後半を音読させる。</p> <p>・補助プリントを配布。</p> <p>宮澤賢治の文章を読ませ、本教材と関連づけて科学技術のあり方を考えさせる。</p>	<p>・前時の内容を確認</p> <p>・本時の目標を設定</p> <p>・第四段落の冒頭を音読させる(指名) 冒頭の一文から第四段落の内容を確認させる。</p>	<p>・論理の展開をたどり、今日的な視点から科学技術と「進歩」の問題をとりあげる。</p> <p>・南北問題について調べたり、関連する文章を読んだりして問題意識を深める。</p>	<p>一時間目…科学の進歩について意見を発表する。第一段落から「進歩」の概念をとらえる。</p> <p>二時間目…第一・二段落から「進歩」の成立要件をまとめる。</p> <p>三時間目…第三段落から「進歩」に対する疑念が生じた理由をおさえる。南北問題について問題意識を持たせる。</p> <p>四時間目…(本時)南北問題について問題意識を深める。第四・五段落から「進歩」の問題点を確認する。</p> <p>五時間目…第五・六段落から筆者が考える今後の科学技術のあり方をまとめる。科学技術について意見を交換する。</p> <p>六時間目…現代における科学技術と「進歩」の問題について自分の意見をまとめる。</p>	<p>高3学年で扱った評論としては二つ目の単元である。前期で扱った評論は「近代」がテーマであり、日本が近代化していくなかで抱えてきた矛盾は歴史的事実として筆者の主張の確りととらえることに主眼をおいた。本単元は「現代」の抱える問題がテーマであるが、「現代」の抱える問題はわれわれが直面している問題であり、自分たちの問題としてとらえていくべきである。論理的な文章として論理の展開や要旨を的確にとらえることに加え、抽象的な表現の多い評論から筆者の主張を身近な問題に置き換えてとらえること。また、関連した文章を読むことで南北問題や科学技術に対する理解や考え方を深め、自分の生き方について考えさせたい。さらには小論文や意見文として表現することや自らの思考をより深めていくことができればいい。</p>	<p>ウ 様々な文章を読むことを通じて、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>・筆者の論理の展開の仕方などをたどりながら、筆者のものの見方や考え方を的確にとらえる。</p> <p>・文章全体の要旨の中心となる主要な論点と従属的な論点とを判別し、主要な論点を的確に読みとめる。</p> <p>・抽象的な語句の確かな理解を図り、言葉による認識の可能性を広げる。</p> <p>人間、社会、自然に関連する文章を読んで、感じ方や考え方を広げたり深めたりしつつ、自分の生き方について考える。</p> <p>ア 「関心、意欲、態度」…課題へ取り組み姿勢ができていいる。関連する文章を読み、考え方を広げようとする。</p> <p>イ 「読む能力」…論理の展開をたどりながら、内容を的確に読みとっている。</p> <p>ウ 「知識、理解」…抽象的な語句を的確に理解している。</p>										